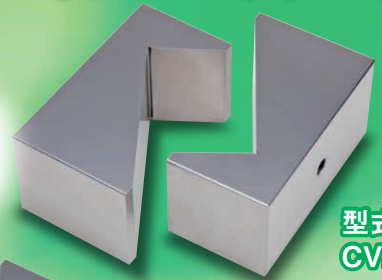


フライスマンの必需品!! 直角出しのエキスパート!!

CHOKKAKUDER V BLOCK

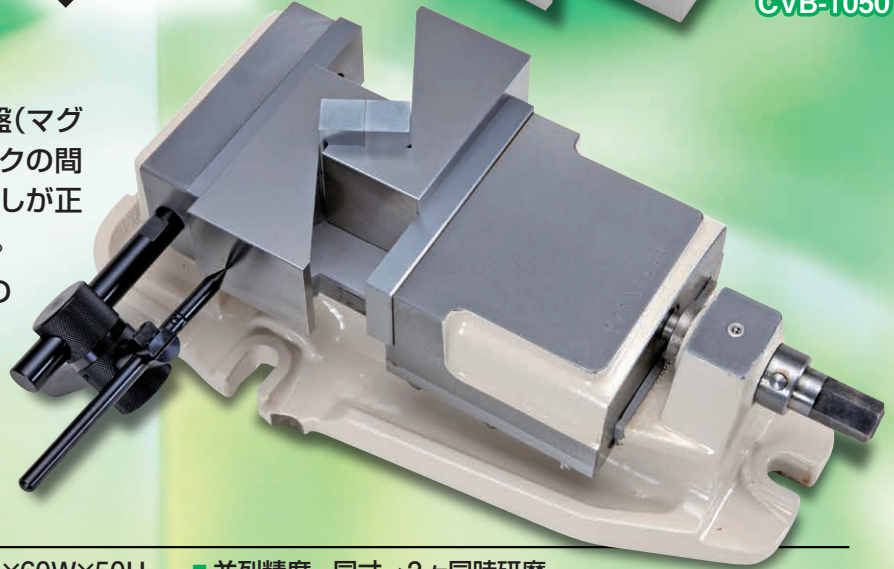
# ちよっかくだ〜



型式  
CVB-1050

## ちよっかくだ〜とは

- フライス盤(マシンバイス)、平面研削盤(マグネットチャック)上で、2個の30° Vブロックの間に角材、丸棒を挟み、長手端面の直角出しが正確かつ簡単に出せる精密Vブロックです。
- 習熟度に関係なく0.01/100mm以内の直角精度が求められます。



## シボラー

CHEVROLER~  
型式 CVL-185



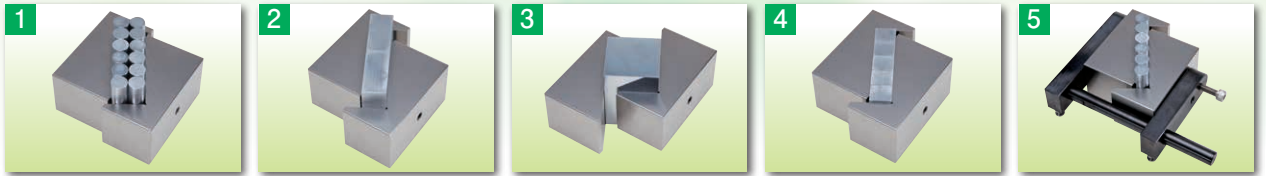
## 仕様

- |                      |                  |              |
|----------------------|------------------|--------------|
| ■ 寸法 100L×60W×50H    | ■ 並列精度 同寸→2ヶ同時研磨 | ■ 外周面取り R1.2 |
| ■ 材質 DC-53(SKD-11相当) | ■ 30°精度 ±30秒以内   | ■ 重量 3.3kg   |
| ■ 直角度 各辺5μ以内         | ■ 硬度 HRC60~63    |              |

## オプション

- シボラーはマグネットチャック上で、“ちよっかくだ〜”内の加工物を挟み込む為の絞り治具です。
- 1ヶ〜多数個の加工物がより確実に絞り込み、研削加工には必需品のアイテムです。

## 使用例



- 1 丸ピンの多数個取り (φ15×70L→6/12ヶ)  
 2 角材の2ヶ取り (22×50×70L→2ヶ)  
 3 角材の1ヶ取り (□50×60→1ヶ)  
 4 短いワークの多数個取 (18×20×30L→5ヶ)  
 5 本体+シボラー 平面研削盤上で丸棒の端面研削に。

## FLEXIBLE・&・KIND・STOPPER

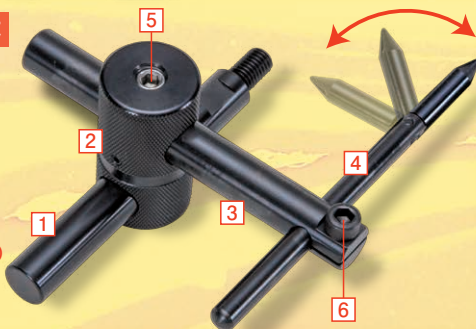
# フレッパー

FLEPPER  
型式  
FKS-100

### フレッパー本体

各部の名称

- 1 支柱(M10)
- 2 丸ブロック
- 3 中間軸
- 4 当たり棒
- 5 ロックネジ (M10ホーローネジ)
- 6 当たり棒ロックボルト



## フレッパーの特長

- 1 マシンバイス用ワークストッパーで、スライドと旋回の動きを1ボルトで2拘束する画期的な構造です。
- 2 取り付けはマシンバイスの固定口金の側面に加工されているM10(M8,M12)の穴に取り付けます。
- 3 当たり棒の両端は、スイング仕様と固定仕様になっており使い分けできます。
- 4 当たりの繰り返し精度0.02以内、精度を求める場合は加工物の当たり面をセルフカッティング下さい。

セルフカッティングする場合には、当たりが折れエンドミル加工ができます。

バイス使用写真

